



11.3憲法集会in国会正門前 提供：田中章史氏（東京憲法会議）

安倍内閣は退陣せよ！ 署名、会員拡大、年末課題へ全力を



No.546

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
編集発行人 田中幹夫

〒113-0034 東京都
文京区湯島2-4-4
平和と労働センター・全労連会館
電話 03(5842)6461
FAX 03(5842)6462
E-mail
chian@bz03.plala.or.jp
頒価 50円

主な記事

- 第30回全国女性交流集会開く …………… 2
- 私も一言／藤川弥之輔・劇団前進座幹事長 …………… 3
- 同盟回顧・国内外の動き …………… 4
- 抵抗の群像／広島県・天道正人 …………… 6
- 同盟文芸／短歌・俳句・川柳 …………… 7

11月8日の参院予算委員会での日本共産党田村智子議員の質問を皮切りに総理主催の「桜を見る会」とその「前夜祭」をめぐる疑惑は、公的行事の私物化にとどまらない、憲政史上まれにみる、安倍総理を先頭に自民党ぐるみで行った政治買収の疑惑が濃厚です。真相究明と内閣打倒にむけた国民的運動の発展めざし、力をつくしましょう。

この間、増本一彦会長を先頭に、激戦を勝ちぬいた新参議院議員事務所を訪問し、紹介議員を要請。野党統一の横沢高徳、石垣のり子、寺田静、芳賀道也、打越さく良、羽田雄一郎、嘉田由紀子、長江孝子、高良鉄美の各議員。令和新撰組の船越靖彦、木村英子の両議員。伊藤岳、吉田忠智議員等合わせて参議院で14議員。衆議院で13議員が承諾し、通常国会と合わせて140議員となり昨年を大幅に超えました。

来年の国会請願まで5カ月となりました。各県・支部は、請願署名の自主目標の達成を決めて、そのための会員へのお願いと、各種団体への要請行動を急いで具体化しましょう。

第39回全国大会から半年が過ぎました。安倍政権が国民生活よりアメリカと武器が大事の本末転倒政治を強行する激動の情勢に応え、一日も早く2万人の同盟と「さらに行動する同盟」を建設しましょう。合わせて、新年名刺広告の拡張、会費、年末募金、滞納一掃に取り組みましょう。

第30回全国女性交流集会

節目となった第30回全国女性交流集会には、昨年を上回る112人が参加。初参加は27人でした。11月10-11日の2日間にわたり静岡県熱海市内で開かれた同集会では、いっさいの差別と分断をなくし、だれもが尊厳をもって自分らしく生きる「ことのできる社会」ジェンダー平等の社会の実現をめざしてがんばることを確認しました。



一彦会長は、「情勢に打ち勝つ自力を持つた大衆的・民主的・自主的政治同盟として治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟を発展させよう」と述べました。



田中幹夫中央本部事務局長は、当面の活動は「九条改憲阻止、安倍政権打倒・総選挙勝利をめざし小選挙区での市民と野党の共同を強める、2万人会員拡大と署名活動の飛躍を勝ち取る」とことごと指摘。大会後の到達点を具体的に示しながら支部建設こそ活動の原動力、会員の要求を取り上げながら目標を達成しようと訴えました。

大石喜美恵中央本部女性部長は「学ぶ組織は強いといわれています。明日の4つの分科会を含めて学び合ひましょう」と挨拶しました。

1928年の3・15の大弾圧から、あと9年で100周年。20年代を「治安維持法体制」を総決算し、「再び、戦争と暗黒政治を許さず、21世紀を平和と人権の世紀」に貢献すること、そのために会員を早期に2万人にすること、全県に女性部をつくること、国会請願署名の自主目標をやり抜くことを呼びかけました。

平山知子弁護士の記事講演(別項)のあと、宮田汎副会長が、北海道における顕彰・発掘活動について報告。沖縄・兼村美美子、兵庫・小松美紀江の両氏が発言、岡山民商弾圧事件に抗してたたかう禰屋町子さんが支援を訴えました。平山知子弁護士は「心の自由を求めつつけて、戦前、戦後、そして未来に向かって」と題して記念講演しました。

【要旨】山本宣治が殺され、伊藤千代子が獄死してから90年、治安維持法って、90年以上も昔の話でしょうか？山宣が命がけで反対した治安維持法は、1945年10月15日に廃止、終戦後ただちに私の父・菊池邦作は、治安維持法撤廃のために奔走しました。

父が治安維持法廃止に、いち早く行動したのはなぜか？父自身が治安維持法の犠牲者でした。45年12月19日付けで、父は「拷問」という手記を書いています。また戦後すぐ45年12月15-16日、共産党長野県組織再建会議に参加して初めて共産党に入りました。

(3ページにつづく)



水車
平成が終わり令和時代に入った。あえて回顧するなら騒擾の30年、平和憲法のおかげで戦争はなかったが、戦争の準備を着々と進めてきた。年月だったと思う▼新天皇の即位をめぐる祝賀式、パレード浴道での「天皇万歳」がなんと16回以上、まるで戦前の「天皇主権」国家に回帰したような異様な光景が演出された。天皇の儀式に多額な国費の支出に「政教分離」違反の声は高まる▼安倍晋三氏の首相在職日数が明治・大正の桂太郎を抜き史上最長になったという。安倍内閣の下で閣僚が相次いで辞任。「モリ、カケ、サクラ」疑惑のモミ消し。首相主催の「桜を見る会」の首相ら地元支持者多数招待など、「公私混同」「公選法違反」の腐敗、道義ナシは底なしだ。長期政権のおごりの極みそのものだ▼江戸時代末期に起こった大阪・大塩平八郎の乱。老中らの幕閣中枢の私利私欲、不正蓄財に名も無い民衆は怒りを炎上した。乱から30年後、徳川幕府は崩壊した。9条改憲をあきらめず、「改憲遺産」づくりに暴走する安倍に鉄槌を加えたい。後世の歴史に残る。

(澤)

(2ページからつづく)

父は群馬県伊勢崎市の出身で東京高等蚕糸学校(現東京農工大)在学中に、学生運動や農民運動に参加。29年11月雑誌『上毛大衆』に

「治安維持法を撤廃せよ」と書く。32年9月前後9回にわたる治安維持法等違反による最後の逮捕と拷問のすさまじさを語っている。

現代の治安維持法と言われる共謀罪法、2017年6月15日参議院で強行採決され7月11日にはもう施行されました。なぜ現代の治安維持法か?安倍政権の「海外で戦争する国」作りです。

いわさきちひろは戦後、松本市で開かれた共産党の演説会に参加し、私の父と親しくなり入党。日本国憲法は私たちの宝です。山宣や小林多喜二が殺された時代と違い、日本国憲法が存在 国民主権 前文と9条 基本的人権

第2日目は、4つの分科会に分かれて、自由討論と活動交流を行

の保障・市民運動から政権交代へ呼びかけを、過去・現在そして未来への自由を求めるたたかいはつながつていきます。

夕食交流会は、和やかに9ブロックそれぞれのだしもので楽しみ、27人の初参加者の一言発言、参加者の女性部活動への思いも語られました。

小林多喜二の『母』を上演 迫害をはねのけて来た、力強い歴史があります。折には、全国の国賠同盟の方々にも公演を支えていただき、ありがとうございます。

前進座は創立以来、日本のホ・ゲーム世代にはうとましく、敬遠される。それは、心を合わせて皆でことを成し遂げる、という行為にも影響し、選挙や政治的主張にも傍観者に

小林多喜二の『母』を上演 迫害をはねのけて来た、力強い歴史があります。折には、全国の国賠同盟の方々にも公演を支えていただき、ありがとうございます。



小林多喜二の『母』を上演 迫害をはねのけて来た、力強い歴史があります。折には、全国の国賠同盟の方々にも公演を支えていただき、ありがとうございます。

小林多喜二の『母』を上演 迫害をはねのけて来た、力強い歴史があります。折には、全国の国賠同盟の方々にも公演を支えていただき、ありがとうございます。

ともに手を携え合つて

伝統的な文化を広めるために芝居を創り、多くの不当な弾圧を受けた歴史があります。

藤川弥之輔

戦争反対の意志を持ちながらもそれを表に出すのではなく、平和を願う方たちに心から感動し楽しんでいただける芝居を創り続け、戦争をはさんで長い年月、先輩たちが多くの

秘一言

戦争反対の意志を持ちながらもそれを表に出すのではなく、平和を願う方たちに心から感動し楽しんでいただける芝居を創り続け、戦争をはさんで長い年月、先輩たちが多くの

戦争反対の意志を持ちながらもそれを表に出すのではなく、平和を願う方たちに心から感動し楽しんでいただける芝居を創り続け、戦争をはさんで長い年月、先輩たちが多くの

(劇団前進座幹事長)



「悪法」なのか。2、ストップ安部改憲―女性と憲法―。3、「語り部」活動―はじめの一步。4、仲間増やしと生きいき女性部活動のテーマで行いました。女性部活動では、女性犠牲者から学び、女性部が必要だと女性部を作った。学習会は、少なくとも継続してやるのが重要。年一回、顕彰ツアーをやっているなど汚発な活動交流のなかで、いままで、あれこれと悩んでいたが、まずはじめることだと学びましたとの発言がありました。

犠牲者遺族の発言もあり、治安維持法で弾圧された犠牲者の家族も犠牲者と当時の母親の話を思い出させつせつと話されていきました。分科会での発言で平山知子さんの講演を聞いて、このような弾圧をふたたび起こさせないよう頑張りたいと決意が語られました。

同盟回顧

2019年

国内外のうごき

1月6〜7日	「不屈」拡大編集会議	6月26日	国際人権活動日本委員会幹事会
1月10日	全労連会館新春昼食懇親会	6月27日	日本母親大会実行委員会
1月11日	全労連、国民春闘共闘旗開き	7月1日	会長・事務局会議
1月16日	三役会議、国際部会	7月17日	北信越ブロック交流会準備会
1月17日	中央常任理事会	7月18日	大韓民国独立記念館研究員との調査・交流会
1月24日	日本母親大会実行委員会	7月22日	国際人権活動日本委員会会議
同	国際人権活動日本委員会会議	7月23日	8・15宣伝ビラ編集会議
2月13日	会長・事務局会議	7月25日	四国ブロック交流会準備会
2月18日	神奈川県本部4役会議	7月26日	有明訴訟国会内報告集会
同日	国際人権活動日本委員会幹事会	8月3日	関東ブロック打ち合せ会議
2月19日	辺野古新基地許さぬ 国会正門前行動	8月5日	会長・事務局会議
2月21日	日本母親大会実行委員会	8月15日	8・15終戦記念日宣伝
2月23日	東京「春を呼ぶつどい」	8月18日	新潟県本部総会
3月8日	三役会議	8月22日	国際人権日本委員会会議
3月9日	3・9原発ゼロ全国集会	8月24〜25日	日本母親大会 in 静岡
3月17日	山本宣治終焉の地記念プレート	8月30日	会長・事務局会議
3月18日	除幕・記念の集い	9月3日	名簿編纂委員打ち合わせ
3月19日	第72回解放運動無名戦士追悼会	9月3〜4日	近畿ブロック交流会
3月25日	辺野古新基地建設断念、9条改憲NO議員会館前行動	9月6日	きかんし印刷創立70周年祝賀会
3月26日	会長・事務局会議	9月17日	水谷安子さん106歳誕生日祝い
4月1日	国際人権活動日本委員会会議	9月8〜9日	中国ブロック交流会
4月10日	三役会議、国際部会	同	関東ブロック交流会



1月22日	毎月勤労統計不正問題で報告書
1月28日	野党が参院選1人区一本化で合意
1月30日	大阪市が学力調査で校長評価へ
2月3日	ローマ法王、アラビア半島初訪問
2月7日	安倍首相「四島返還」言及せず
2月14日	同性婚を求め全国で一斉提訴
2月17〜23日	6野党・会派が国政選挙に向けて3点合意
2月22日	「はやぶさ2」が「リュウグウ」に着陸
2月24日	辺野古埋め立て「反対」7割超 沖縄県民投票
3月4日	日産自動車前会長ゴーン被告108日目に保釈
3月29日	英議会三たびEU離脱案否決
3月31日	共産党、宮本岳志衆院議員を衆院大阪12区補選に擁立
4月10日	桜田五輪相辞任
4月15日	フランス・ノートルダム大聖堂で火災
5月1日	皇太子が新天皇に即位
5月27日	布川事件で国と茨城県に賠償命令
6月9日	香港で犯罪容疑者の中国本土移送に抗議103万人がデモ
6月11日	沖縄県知事が全国キャラバン開始
6月28〜29日	大阪市でG20首脳会談
6月28日	ハンセン病患者家族への国の責任認め
6月30日	米朝首脳3度目の会談、板門店で初めて北朝鮮側に足を踏み入れる

4月12日 女性部会、「不屈」編集会議
 4月16日 国際人権活動日本委員会幹事会
 4月18日 会計監査
 4月25日 国会請願への各党挨拶要請
 『治安維持法と現代』(37号) 発行
 5月1日 第90回中央メーデー
 5月3日 5・3有明憲法集会
 5月10日 18年度紹介議員へ『治安維持法と現代』届け
 5月14日 「芸樹と憲法を考へる連続講座」
 5月15日 国会請願
 5月18日 会長・事務局会議
 5月20日 請願署名の議員要請
 5月31日 国際人権活動日本委員会代表者会議
 6月3日 三役会議
 6月4～5日 第39回全国大会
 6月5日 3・1朝鮮問題学習会
 中塚明・奈良女子大学名誉教授
 6月6日 拡大女性部会
 6月13日 共産党中央委員会表敬訪問
 同 三役会議
 6月15日 神奈川県本部大会
 6月17日 紹介議員要請行動
 6月21日 レ・パ全国センターと懇談会
 6月22日 参院選1人区32選挙事務所へ概文発送



9月22～23日 四国ブロック交流会
 9月24日 国際人権活動日本委員会会議
 9月25～26日 北信越ブロック交流会
 9月29～30日 北海道ブロック交流会
 同 東北ブロック交流会
 10月1日 高橋健太郎写真展
 10月2日 全労連会館防災訓練
 10月3日 会長・事務局会議
 10月4日 臨時国会開会集会
 10月9日 三役会議、国際部会
 同 「西田信春―甦る死」出版打合せ
 10月10日 中央常任理事会
 10月14～19日 中国平和連帯の旅
 10月15日 会長・事務局が新参院議員へ国会請願要請
 10月21～22日 東海ブロック交流会
 10月22～23日 九州沖縄ブロック交流会
 10月23日 日本母親大会実行委員会
 10月24日 日本母親大会省庁要請
 10月25日 国際人権活動日本委員会総会
 『治安維持法と現代』(38号) 発行
 11月3日 11・3憲法集会
 11月5日 「不屈」編集会議
 11月10～11日 全国女性交流集会
 11月14日 東京・青年部ライブ
 11月22日 全労連創立30周年記念集会
 11月23日 中国ブロック会議

7月2日 年金7兆円削減、政府公式に認める
 7月18日 京都アニメーションで放火34人死亡
 7月21日 参院選で野党統一10氏が当選。改憲勢力3分2割れ
 8月21日 防衛庁の概算要求が初の5・3兆円台
 8月22日 横浜市長カジノの誘致を表明
 8月25日 埼玉県知事選で大野氏が当選
 9月4日 香港政府、逃亡犯条例案、正式撤回
 9月11日 首相が悲願の改憲狙い内閣改造
 9月15日 台風15号が関東を直撃、千葉県を中心に広範囲で停電
 9月23日 環境活動家で16歳のグレッタさんが国連で演説
 9月26日 不自由展、文化庁が補助金全額撤回
 9月26日 国連で核兵器禁止条約の署名・批准書提出式。署名79カ国、批准32カ国に
 消費税率10%に引き上げ、
 10月1日 リチウムイオン電池開発の吉野彰氏らにノーベル化学賞
 10月9日 台風19号、12日に関東に上陸し、堤防の決壊128カ所死
 10月19日 者79人
 10月31日 沖縄県那覇の首里城が焼失
 11月11日 「桜を見る会」追及
 11月13日 で野党結束
 トランプ氏弾劾で公聴会



戦前、兵庫・戦後、広島県の
労働運動に貢献戦前、兵庫・戦後、広島県の
労働運動に貢献てんどうまさと
天道正人

懲役3年で広島刑務所に服役

1904年(明治37年)12月23

日、広島県安芸郡府中町の旧家の
長子として生まれた。23年に広島高等師範学校付属中
学を卒業し、中国進出の人材を育
成する上海の東亜同文書院に進学
したが、1年で中退。関西学院に
入学した。そのころの関西学院は、学生運
動、文化運動がさかんな時期で、
天道が下宿した当時の西灘村にあっ
た東ハツの家は、労農運動の連絡
場所でもあり、大阪や東京の活動
家も出入りしていた。のちに天道の妻になる山上すず
も大阪の労働組合の連絡員として
きていた。文学青年であった天道
は文芸部や演劇部にに関わり、学生
運動に参加した。天道は、全協(日本労働組合全
国協議会)の労働者を対象にした
社会科学研究会の講師活動をするかたわら、無産青年同盟神戸支部
の再建に参画した。

「戦旗座」事件で逮捕・拘留

28年にできたナツプ(無産者芸

術連盟)の劇作家・久坂栄次郎か
ら大阪支部長の任をうけた天道は、
劇団「戦旗座」の大阪公演「炭鉱
夫」の役者として大阪の寺で舞台
稽古のうち合わせに行き、そこを
警察に襲われて川口署に留置され、
11月の昭和天皇即位式の前後50日
間を大阪生田署に拘留された。卒業を控えた29年2月に天道は、
学校当局から不当にも「除名処分」
をうけた。

兵庫県の労働運動に全力

全国的な三・一五弾圧の後、労

農党の再建をめざして、各地で

「政治的自由獲得労農同盟」が組
織され、29年4月、天道は、神戸
支部の書記に選ばれた。天道は、同年8月に神戸市電、
三菱造船の職場活動家の社会科学研究会の指導にあたり、同年10月
に日本共産党に入党して、三菱造
船工場の党組織の発展に全力をか
たむけた。一時、帰郷した後の30年7月に
来阪し、「無産青年」社に連絡中
の8月1日に検挙され治安維持法
違反で懲役3年の実刑をうけ広島
刑務所に服役した。獄中、兵庫で知り合った山上す
ずと結婚し、新妻すずは府中町の
正人の実家で過ごし、正人の出獄
を待ちわびた。

広島県党の再建に尽力

戦後、天道は、日本共産党広島
県委員会の再建に力を尽くし、長
く県委員を務めた。46年4月の第1回のいつせい地
方選挙で、郷里の安芸郡府中町
(広島市の近郊、マツダ本社工場
のある町)で町会議員に初当選、
以来連続10期を勤めた。この間、3期にわたる革新町政
の誕生、3人の日本共産党議員団
の建設に尽力した。そのあととも衆院広島1区や府中
町長選挙に日本共産党公認候補と
して立候補した。日中友好協会の広島県理事長と
して、毛沢東盲従派とたたかいぬ
いた。また、「広島旧友会」の活
動のほか、絵画、書、詩作など多
彩な文化活動で、広島県下の民主
的運動に貢献をした。1992年11月30日、享年88歳
で天寿を全うした。

終生をともした妻すず

正人の妻すずは、岡山県の活動
家山上武雄(日農結成に参加、治
安警察法違反で懲役3年、治安維
持法違反で懲役2年をうけ、63歳
で死去)の長女として生まれた。
戦前は、大阪で女性労働者として
活動した。その中で天道正人と知
り合い、その活動を献身的に支え
ぬいた。戦後は、文房具店などを営みな
がら、新日本婦人の会府中支部の
結成時には初代の支部長をつとめ
るなどして、天道正人の地元、府
中町で活動を支えた。正人の死去後も、広島市西区の
老人ホームで民主的活動家に囲ま
れて過ごし91歳の天寿を全うした。

(広島県本部理事・二階堂洋史)

同盟文芸

短歌

碓田のぼる選

じじわれは孫に秀るはなけれども戦なき世を作り残さん
兵庫県 岸本 守
がん病みて志位報告を読みきれば野党連合に励まされいる
福井県 元山章一郎
胸狙い青年撃ちしを自衛とし弾圧止まぬ香港警察

「桜を見る会」を追及され詰まり「お前言え」と部下を、顎で指す男
大分県 渡辺 幹生
妻読みしカナリア島の9条の碑山火事に耐え今もあるかや
新潟県 加茂川貞立
柿挽ぎを手伝い慣れぬ吾にして挟み両手で枝をば挟む
岩手県 小杉 正夫

百人の仲間腕組み久々に「がんばろう」歌うブロック集会
岐阜県 和田 昌三

病む友を恋しと思う老い心留守電コールたそがれの秋
大阪府 丸尾 こと
防災の対策述べる論客は温暖化に触れぬ日曜討論

二番穂の盛りし閑宿歩き行けば利根の大河が迎えてくれる
埼玉県 福家 駿吉
〈選のあとに〉岸本作品の「秀るはなけれども」は孫の世代へのたしかな期待感。元山作品は志位報告で病者が励まされている喜び。加茂川作品の「妻」は、本欄に作品を寄せていた加茂川ハル子さんのこと。昨年89歳で他界されたとのこと。哀悼。

俳句

望月 たけし選

十一月土佐で実らせこの年を

埼玉県 小池 荘八

天高し彼我の署名が時を撃つ

三重県 橋本しげる

資本論閉つ机上も庭も月明かり

神奈川県 天野三葉子

夕日映え紅葉街道古城町

兵庫県 岸本 守

薬は輸入に抗し凜と起つ

鳥取県 大久保禮吉

〈評〉一句目の高知県知事選は、共闘が発展した今年の集大成。「桜を見る会」疑惑に特微的な、首相による「政治の私物化」など、この機にとんでもないことが起きている。もっと詩語を磨き多くの人に訴えたい。

川柳

鈴木いさお選

国民は改憲よりも暮らし向き

大阪府 大和 峯二

〈評〉年金は下がる、消費税・医療費は上がる。国民の暮らしは苦しくなる一方。見るよりも首相のさくら作る会

身の丈に合わない武器の爆買いは

埼玉県 福家 駿吉

頑張ろう減らぬ年金老い若き

大阪府 佐々木雅博

天皇即位憲法遵守民主主義

鳥取県 大久保禮吉

大阪府 堺谷九条男

北信越ブロック交流会

北信越ブロック交流会は9月25日(26日)、北信越5県から過去最高の46人が参加して開催されました。会場は、「横浜事件」の舞台となった富山県朝日町の「料理旅館・紋左」。1日目は、「泊・横浜事件、端緒の地から問う」と題して、地元の研究者・金澤敏子さんが記念講演。戦前回帰をねらう安倍政治にふれながら、戦前の治安維持法を告発しました。中央本部の増本一彦会長は基調報告で「2020年代を治安維持法体制を総決算するにふさわしい同盟の自力をつけよう」と熱っぽく呼びかけました。各県報告の後、2日目の正午まで活動の交流が活発に行われました。
夕食交流会では、治安維持法犠牲者の子と孫にあたる親子の女性が思いを語るなど、楽しい中にも、たたかいへの決意を固めました。20年の「交流会」は、石川県で開催することを確認して閉会しました。

(富山県本部事務局長・吉田修)

長崎県で島原支部結成

島原城内・森岳公民館で支部結成集会が11月10日、49人の参加で開催された。熊本・沖繩からの参加もあり、中央本部（副会長・小田憲郎氏）からの挨拶で意気高まり、盛会となった。

布川冤罪事件の桜井昌司さんが講演。警察・検察の自白誘導、証拠隠しと証拠ねつ造、検察の追認でしかない裁判の腐敗などを報告。支部結成は4年前、反戦医師・末永敏事（1887〜1945）の『現代』30号掲載。長崎新聞連載がきっかけとなり、そんな中、熊本から上田精一氏が南島原市に転居された。「敏事」の大ファンでもあ



ふたたび年末の財政活動強化を心から訴えます

年末の「財政活動強化」が待ったなしとなっています。「不屈」読者・会員のみならず心に心から訴えます。

- 1、会員拡大と会費納入にご協力ください。会費納入は年内によりしく願います。
- 2、年末募金（1口千円）、可能な金額で結構です。
- 3、名刺広告代金100%回収で中央への納入確保をお願いします。
- 4、DVD「種まく人びと」、『治安維持法と現代』『抵抗の群像』第3集など、同盟発行物の購読と普及にご協力ください。

る彼は地元の近藤一宇氏と協力し結成準備、実を結んだのである。

新支部会員は11人。66名の小規模県ながら、長崎ならではの個人的な活動に邁進して行きたい。

雲仙に コンコンと
清らかな 泉湧く
(長崎県本部事務局長・力武晴紀)

『本の紹介』



NHK「ETV特集」取材班著『証言 治安維持法―「検挙者10万人の記録」が明かす真実』（1925年）に制定された治安維持法は「稀代の悪法」と称される法律。当初は共産党を取り締まり対象としたが、戦争の拡大とともに反戦・自由を思う一般市民

に拡大。20年間にどう運用されたか、公文書からの検挙者数抽出。共産主義者の娘として拷問を受けた女性、長野の青年教師らの検挙、朝鮮の独立運動家が治安維持法違反で逮捕・22人が死刑、旭川師範学生への「生活図画教育」事件の被告、松本五郎、菱谷良一さんの「地獄だったね：よく生きていたと思う」とのリアルな証言と続く。

戦後も特高が公安警察として生き続けている事実も告発。勇気ある放映と出版に拍手を送りたい。萩野富士夫小樽商科大名誉教授が監修（NHK出版・900円）

【訂正】本紙11月号4ページの2段目の「東北ブロック」文中の高橋祝を遠藤祝に訂正します。

事務局日誌

- 11月3日 11・3憲法集會
- 11月5日 「不屈」編集集會
- 11月10〜11日 全国女性交流集會
- 11月13日 神奈川県対策集會
- 11月14日 東京・青年部ライブ
- 11月19日 全労連会館運営委員会
- 11月22日 全労連創立30周年記念集會・レセプション
- 11月23日 中国ブロック交流会
- 10月25日 国際人権活動日本委員会総会

2019年秋季号

『治安維持法と現代』好評発売中

治安維持法と現代を結ぶ運動理論誌

【主な内容】「三・一朝鮮独立運動100周年・日本で隠された朝鮮侵略の歴史」=中塚明、「参院選後の憲法をめぐる情勢」=金子勝、「今日の日米同盟についての考察」=小泉親司、「時代を切り拓いてきた女性たちのバトンを引き継ぎ」=広井暢子、「ゾルゲ事件はどのように裁かれたか」=萩野富士夫、「治維法と近藤忠義さん」=塩谷郁夫、「ナチスに抵抗した軍人の名誉回復によせて」=児玉健次。「治維法下の津田楓風と画『犠牲者』」=小木宏、「『芸術と憲法考える連続講座』なぜ犠牲者を題材に取り上げたか」=川嶋均、「禁演落語と国策落語」=柏木新《文学エッセイ》加藤周一誕生100周年に寄せて」=北村隆志、「『生きてゐる兵隊』を読む娘さん」=古澤夕起子《抵抗の群像》「国内最高齢犠牲者・小林末夫さんに聞く」、「俳句弾圧と秋田県的事件『歎(さそり)座』事件」、樺太『戦旗』読者会弾圧事件ほか。

A5判 定価1000円 申し込みは、中央本部 各都道府県本部へ
発行・治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟

治安維持法と現代

